

令和7年度 第1回 地区推進会議 会議録

1. 開催日時

令和7年11月17日(月) 10時30分～12時00分

2. 開催場所

市川市役所第1庁舎5階 第3委員会室

3. 出席者

・福祉委員

【国府台地区】岸田委員、須賀委員【国分地区】服部委員、橋本委員
【曾谷地区】日光委員、高浜委員【大柏地区】淡路委員、吉野委員
【宮久保・下貝塚地区】有坂委員、後藤委員【市川第一地区】永井委員
【市川第二地区】滝沢委員、安倍委員【真間地区】小林委員、千葉委員
【菅野・須和田地区】吉野委員、松本委員【八幡地区】鈴木委員
【市川東部地区】坪井委員【信篤・二俣地区】加藤委員、松永委員
【行徳地区】森川委員【南行徳地区】松倉委員、山本委員
【市川ボランティア協会】山崎委員

・市川市

・市川市社会福祉協議会

4. 傍聴者

0名

5. 議事

- (1) わかちあいプラン振り返りシートと統計について
- (2) アンケート結果について
- (3) ゴミ出しについて

6. 配付資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 R6年度振り返りシート（14地区分）
- ・ 資料2 地域ケアシステム推進に関する統計資料
- ・ 資料3 共通課題の検討～アンケート結果から～
- ・ 資料4 地区別重点課題について

7. 議事録

(午前 10 時 30 分開会)

発言者	発言内容
	議題(1)わかちあいプラン振り返りシートと統計について
事務局	それでは、「議題(1)わかちあいプラン振り返りシートと統計について」地域共生課長よりご説明いたします。
地域共生課長	(資料 1、資料 2 に基づき説明)
事務局	ただ今の議題(1)につきまして、ご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。
	(質問等なし)
事務局	質問がないようでしたら、ここでグループごとに各地区の状況や工夫していることなどについて、ご自身の地区の振り返りシートもあるかと思いますので、5 分程度意見交換の時間を設けたいと思います。
	(グループ討論)
事務局	活発なご議論ありがとうございます。今後も議題ごとにグループで話す時間を設けられたらと思っております。グループで話した中でぜひ、全体に対して共有したいことがございましたら、挙手をお願いいたします。
菅野・須和田 地区 吉野委員	色々な意見が出ましたが、そもそもサロン活動がどういうものなのか、いかに有効に働いているのかがわからない状況です。今現在、私が代表者になってから、うちの地区にサロンがいくつかあるのはようやくわかりました。しかし、サロン代表者がどんなことをやっているのか、承認するときは我々でやっておりますがそこから先はどうなっているかわか全然わからない状態です。それがあまりにも年月が経ったため、去年はサロンの代表者に全体会議に来てもらい、いろいろ話してもらいましたが、これは好ましくないからもうやめさせたほうが良いのではないかという意見もあり、そうするとそれもまた、我々は認めるときは認めたけどやめさせるときは何ら何の権限もなさそうな感じで、よくわからないです。サロンは色々な活動をしているので社会的には有効でしょうが、我々の地区の組織には、何が有効なのかよくわからず、無駄なのではないかという感じで今はおります。そのためサロンについては、きちっとした形を作ろうじゃ

	<p>ないかと、うちの地区は皆さんに、ちょっと検討しましょうよということで、昨年あたりからスタートしました。私個人的には、さほど意義のある活動なのかなということは疑問に思っております。大変申し訳ありませんが、労をかけている割には、何か益が少ないと感じます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
南行徳地区 山本委員	<p>サロン活動は非常に良いです。やった方が良いと思います。ただやる方は大変です。それと、参加する方が時間的になかなか来られない方が多くなっています。足腰が悪いだとか、雨で寒い、暑い等そういった理由で来られなくなっております。それから場所を確保して主催する方も大変かと思います。月1回でも安心して提供してくれる場所があれば良いかと。それか市が補助金でも出してくれればすぐオーケーすると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
市川第二地区 滝沢委員	<p>私どものグループでは、吉野さんが最初にサロンのことについて報告していただきましたが、このグループ自体はサロンを決して否定はしておりません。許可をするとき地区社会福祉協議会の承認が必要になりますが、その内容が、年に1度も何も報告がないということに対して、最初に吉野さんが質問しました。決してサロンを否定してるわけではありません。サロン活動は大いに結構ですが、その内容が申請した当事者に届いてないことをお伝えしたかったということです。ですから、最後に吉野さんも言うておりました通り、サロンを廃止したとき、何ら連絡もなく、ナメクジのように消えていったということのないよう、事務局もしっかりと意思の疎通を地区にしていっていただきたいということでございます。</p>
事務局	<p>サロンに関するご意見たくさんいただきましてありがとうございます。他に何かございますでしょうか。</p>
市川第二地区 滝沢委員	<p>今サロンのお話をしましたけれども、我々の要望としては、今の事務局としての考え方をお聞きしたいです。</p>
地域共生課長	<p>ご意見をいただきましたので、それに対する現時点での回答ですが、サロン活動は活動費を支給しております。1回1,000円支給しておりますので、お金が入っている以上は報告をするだけではなくて、どういったことをやったのか、参加者が何人いたのか、実施してどのような効果があったのかを検証していかなければならないと思います。サロン活動が、結局何のために役に立ってるのか、皆さんに届かないといけないと思っております。</p>

菅野・須和田 地区 吉野委員	<p>す。それが届いていないという現状がありますので、今後はサロン活動を地区社会福祉協議会全体に届くように、実施していきたいと考えております。</p> <p>先ほど滝沢さんが「サロン活動を否定しているわけではない」とおっしゃいましたが、私は大いに否定しております。それを色々説明すると長くなりますが、例えば、高校やサークルなんていうのは、毎月どんどん現れて、申請すれば結構許可され、その活動者が卒業するとなくなります。年間の出入りが激しいです。ところが我々のこのサロンは、一旦できてしまおうとずっと長い間、例えば子育てサロンですと、生まれてから数年先まで、もう終わらせてもいいんじゃないかと思うのに続いています。代々引き継いでいるんだと思いますが、とにかく、その出たり入ったりするの、生まれたりなくなったり解散したり発生したり、新陳代謝が激しく行われていけば、活発なサロン活動が行われてるということは評価できると思いますが、うちの地区の場合はそういう感じではないです。他は違いかもかもしれませんが、そういう新陳代謝があまりないので、こんなのいつまで続いているんだろうなとよくわからないです。誰に聞いてもよくわからないという回答が非常に多かったので、そういう疑問を呈しているということです。</p>
ボランティア 協会 山崎委員	<p>私はサロンを主導してやっておりまして、てるぼサロンではありませんが、助成金をいただいてやっております。サロンをやるときには年間の計画、それから終わりましたら報告書も提出しております。ですからそれに沿って、いただいたお金をサロンのときに還元するということをしておりますので、むやみやたらにそのお金を使ってしまうということもございません。皆さん楽しんで月1回ですが、サロンに来ていただいています。八幡でやっておりますが10人以上は来ていただいて、皆さん「ここがあるから良い、もっと増やしてってください。」という希望も出ております。以上です。</p>
事務局	<p>たくさんの意見ありがとうございます。サロン活動について、少し課題感を抱えてらっしゃるところもあれば、とてもうまくいっていて、もっとやりたいんだというところもあるということがよくわかりました。目的ですとか、意識高くですとか、こうやってますというような報告もあります。どういうサロンをやっていくと喜ばれて、皆さんの地域の活動活性化に繋がっていくのかということを、ぜひうまくいっているところを参考にさせていただいて、実施していけたらいいのかなと思っています。</p> <p>お時間がありますので次の議題に移りたいと思っています。</p>

	議題(2)アンケート結果について
事務局	「議題(2)アンケート結果について」説明させていただきます。
地域共生課長	(資料 3 に基づき説明)
事務局	ただいま説明しましたアンケート全体のことについて、ご質問のある方いらっしゃいましたらお願いいたします。
南行徳地区 山本委員	このアンケートというのはいつ実施したものでしょうか。地域ケアシステム推進連絡会で実施したのですか。
事務局	アンケートについては、それぞれの地区のタイミングは様々ですが、今年の 2 月から 6 月ぐらいにかけて各地域ケアシステム推進連絡連絡会で実施させていただきました。
南行徳地区 山本委員	229 人のうち約 25%回答があったとありますが、関心が薄いですね。逆に 75%の回答があったといえはすごく反映されると思います。
事務局	229 人が回答者数でして、25%というのは、一番右側にあります回答率のところの数字でしょうか。こちらは、その 229 人のうち、例えば一番上のものですと、「自分や家族の健康や病気のこと」が課題だと感じると答えられた方が 24.9%というような見方になっております。
南行徳地区 山本委員	はい、わかりました。ありがとうございます。
八幡地区 鈴木委員	八幡地区の鈴木です。ゴミ出しについてですが、最初の頃は本当にカラスや猫に荒らされて、清掃局からネットを配られていた時代がありました。それから今はカゴに入れるよう、カゴを設置してくれるようになりましたので、かなり被害が減りました。またアパートには必ずごみを捨てるステーションを作るという決まりができたのか、むき出しでごみを捨てるような場所がなくなったせいで、カラスの被害がすごく減ったというのを実感してます。ただ、八幡の地区だけなのか、月曜日は資源のごみを出すと、朝早くに自転車で回ってきてごみを漁ってガチャガチャにして、もう本当に腹が立ちますが、金属や銅線など必要なものだけ取ってそのままにして行ってしまうというのがあります。これはもうどうにもならないのではないかと思います。これをやめさせる良い方法はないのでしょうか。本当にカラスや猫によって荒らされる日が減って綺麗になって安心したと思

事務局	<p>ったら、次はこれかという感じです。一時期新聞を盗まれたこともありましたが、古紙が安くなったのか、なくなったので一安心です。難しいですが、何か解決方法があると嬉しいと思います。</p> <p>ご発言ありがとうございます。この後ごみ出しについて、今話していただいたような課題だけではなく、その他の課題もたくさんアンケートの中でいただいております、その解決について、グループで何か提案がないかというところを討論いただければと思います。</p> <p>アンケート全体のことについて、もしなければ次のごみ出しについて、ご説明させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">議題(3)ゴミ出しについて</p> <p>「議題(3)ゴミ出し」について、説明いたします。</p>
地域共生課長	<p style="text-align: center;">(資料4に基づき説明)</p>
地域共生課長	<p>「お互いさま事業」について、市川市社会福祉協議会の方がいらっしゃいますので、ご説明をお願いできればと思います。</p>
CSW	<p style="text-align: center;">(「お互いさま事業」について説明)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ではこの後、討論に入りたいと思いますが、その前に何か質問事項等あればお伺いします。</p>
八幡地区 鈴木委員	<p>ごみ出しの現状について質問です。「転入手続きの際、全世帯にゴミ出しのガイドブックを配布」と記載がありますが、実際に見本として、ごみ袋それぞれ1種類ずつで良いのですが、サンプルをつけたりはしていますか。</p>
事務局	<p>こちらは市民課の転入手続きの担当で実施している事業にはなりますが、今私が確認ができてるのはあくまでパンフレットということです。あったらいいというご提案かとは思いますが、実現可能性についてはわかりませんが、そういったご意見があったということを伝えさせていただければと思います。</p>
南行徳地区 山本様	<p>自治会に関しては加入の際にサンプルを渡しております。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。自治会の活動についても今ご報告いただきました。先ほども金属など取って行かれてしまうというような課題がありましたが、ごみ出しの問題は多岐にわたります。「④通行人のゴミ捨て、指定袋不使用、曜日を守らないなど、マナーを守らない人がある」、「⑤ゴミ置き場が汚い」という課題については解決に向けた仕組みが今整っていない部分になりますので、そこを中心に討論していただければと思います。20分程度時間を設けますので、その後、ぜひ全体に共有したいことがありますしたら提案をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">（グループ討論）</p>
事務局	<p>皆さまありがとうございました。非常に活発なご議論いただきましてありがとうございます。私も話の中に入らせていただいて、ここで解決ということはもちろん難しいと思います。今までそれぞれの地域の中で工夫されてることで、ここで共有することで、どこかの地区の取り組みで自分の地区にも当てはまるかもしれないものを取り入れることができたらいなと思います。どなたか工夫されてることで、効果があったりですとか、こんな案があるよというようなところですね、全体に共有してくださる方がいらっしゃったら、お願いいたします。</p>
菅野・須和田 地区 吉野委員	<p>話し合いましたけど良い案はないですね。そんないい案があればとっくに解決してる話だろうと思います。それよりまず最初に、疑問に思っていて確認したいことがあるのでお尋ねします。最近ネットを見ると、日本全体の話ですが、自治会に入らないとごみ出しができませんとか、防犯灯が使えませんか、そういうことでものすごくもめて裁判になっているという話が山ほどあるらしいです。市川市ではそういう話は聞いたことはないですし、自分が自治会長をやっていて、新しく転入された方に、自治会に入らないとごみが出せませんよということは一言も言ってないですし、でも市川市でどういう風になっているかということをまず確認をしたいです。ごみ出しの色々な案も出ましたが、グループ内で却下されてしまいましたので、お願いします。</p>
地域共生課長	<p>正確なところは担当課でないとわからないことがありますが、私は過去に真間に住んでいたことがありまして、その当時は自治会に入っておりませんでしたが、ゴミ置き場を使わせないということは全くございませんでしたし、防犯灯のことも、特に問題がなかったと思います。なので、今も変わってなければ変わってないと思いますが、自治会に加入していないか</p>

事務局	<p>ら、ごみ置き場は使えないとか防犯灯が使えないとか、そういったことはないと思います。</p> <p>何か良い案が出たグループはありますか。</p>
菅野・須和田 地区 吉野委員	<p>グループ内で却下されてしまった意見ですが、話します。空き家が多くなったら空き家バンクを作ったらいかがかなということで、2年前から市川市でも空き家バンクができたようで、いろんな活用の方法があるのがわかります。今回のごみ出しの件についてはどうするかということで、先ほど我々の地区のお互いさま事業の報告の中で、高校生が手伝ってくれたという話がありました。基本的にボランティアだから、私はあんまり好きではないのですが100%無償でやるのが基本なので、ごみ出しに限らなくてもいいですが、ボランティアと同時にボランティアバンクみたいなものを作って、若い子が来たらそれは将来奨学金が受けやすくなるよとか、具体的にいくらとかそういう話じゃなくて、将来的にも結構有効ですよ、内申書に何か書いてあげる。そういう総括的なボランティアバンクみたいなものをつくれればいかがかなと思ったら、あっけなく却下されたという話です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ボランティアバンクという話が今ありましたが、別の分野になりますけれどもこども食堂の話を聞きますと、やはり高校生のボランティアですとか大学生のボランティアがいらっしゃるみたいで、内申というところも多少絡むのかもしれませんが、高校生たちの若い力を活用できるような方法というのがあるといいのかなと個人的には思っているところです。他に何かありますか。</p> <p style="text-align: center;">(意見、質問等なし)</p>
事務局	<p>ありがとうございます。解決が本当に難しいというところが実感できます。意見がなかなか出ないということも、解決の難しさの表れかなと思っています。この地区推進会議に関してはまだ今後も続いていきますので、もしこんな取り組みやってよかったよということがありましたら、皆さんで共有していただけると良いかと思っています。</p> <p style="text-align: center;">議題(4)その他</p>
事務局	<p>それでは時間も差し迫って参りましたので、「議題(4)その他」に入ります。会議の全体を通して何かご報告、ご質問、ご意見等ある方がいらっしゃいましたらお願いいたします。</p>

真間地区 小林委員	<p>時間もないものですから端的に申し上げますと、お願い事項が1つと、確認事項が1つございます。</p> <p>いずれも地区社会福祉協議会での活動に必要なパソコンの関係ですが、行政の方もまた市川市社会福祉協議会の方もですね、よく対応していただいておりますが、今我々が使ってるパソコンがもう大分古くなってきて、故障だとか、いろんな形がありまして、事務に支障をきたしているというようなところで、何とか新しいパソコンを導入していただきたい。あまり「検討してもらいたい」と言うとかくまでもずっと検討のままになってしまうので、この際、ぜひ地区社会福祉協議会の事務に支障のないような、素晴らしいパソコンを配布していただければというふうに思いますので、よろしくお願いします。それからもう1点が確認事項ですが、これはボランティアの関係で、前回の地区推進会議の中でもお話ししましたが、ボランティアに対する有償の関係の件ですが、前は「検討しています」という回答でしたが、その後、料金を上げてもらいたいという件はどうなってるかお聞きしたいという2点でございます。</p>
地域共生課長	<p>パソコンの件も相談員の費用弁償の件についても、現在、令和8年度の当初予算の要求をしているところです。こちらは地域の皆様が困らないようにするため、財政課と今まさに交渉しているところでございます。</p>
南行徳地区 山本委員	<p>当初予算は、どれくらい上がるのでしょうか。</p>
地域共生課長	<p>予算は、パソコンの購入費と相談員の費用弁償の件について交渉しております。令和8年度の当初予算ですので、具体的に結果が出るのはまだ先のことになりますけれども、予算がついた場合でも4月以降、ということになります。どうしても地域ケアだけではなく、市政の色々なところで、やはり予算要求をしてるものですから、結果というのはまだどうなるかわからないところでございます。</p>
真間地区 千葉委員	<p>パソコンが入るとしても来年度なののでしょうか。電源を入れて2時間くらい立ち上がらなくて、事務作業が全然できません。</p>
大柏地区 淡路委員	<p>予算要求の段階というところで、令和8年度の予算だったらまたそのときに購入できるかどうかは判断しますということだと思っんです。今ここで言っても、とにかく令和8年度の予算が取れないことには、予算が駄目になってしまったらまた駄目かもしれないということです。</p>

菅野・須和田 地区 吉野委員	<p>今のパソコンの件ですが、今現在、日進月歩の勢いで技術革新進んでいるので、例えば小中学校の現場では、昔は各学校に1クラス分ぐらいのパソコンが入っていて、もう今は全員がタブレットを持っています。そうすると、今まで使ってたパソコンが各小学校中学校もう全部いらなくなって、それから比べれば、今要求のあった件というのはあっという間にできるような話なので、補正予算でもなんでも組んでもらって、優先的にやってもらったらいかがなんでしょうか。</p>
事務局	<p>予算に関してはやはり市の事業全体という話が出てまいりますので、ここで決断できることではないんですけれども、予算の要求をさせていただいているというところで回答させていただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">（意見、質問等なし）</p>
事務局	<p>本日の会議は以上となります。ありがとうございました。</p>

(12 時 00 分閉会)